

# 環境活動レポート

2006年度

ネットイヤーグループ株式会社  
eco プロジェクト

2007年7月30日

## 1. ネットイヤーグループ株式会社の事業概要

### (1) 事業者名及び代表者名

ネットイヤーグループ株式会社  
代表取締役社長兼 CEO 石黒 不二代

### (2) 所在地

本社： 〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町 26-1 セルリアンタワー 5F  
道玄坂オフィス： 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-10-8 渋谷野村ビル 10F

### (3) 環境管理責任者

ヴァイスプレジデント SPIS 事業部第1グループ グループリーダー  
倉重 宜弘

### (4) 担当者連絡先

本社：〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町 26-1 セルリアンタワー 5F  
連絡担当者：倉重 宜弘  
TEL：03 - 5728 - 0604 FAX：03 - 5728 - 0606  
E-mail：y-kurashige@netyear.net

### (5) 事業概要(2007年4月1日現在)

#### 事業内容：

徹底した顧客視点に基づいた最高のエクスペリエンスを創出することに主眼を置いた、インターネット技術を活用した戦略的マーケティング業務支援、及び新規事業開発支援

- eビジネス事業開発及びマーケティング戦略に関するコンサルティング
- ウェブや携帯等のインタラクティブメディアにおけるクリエイティブ及びコンテンツ企画・制作
- ウェブやEコマース等インターネット技術を中心としたシステムインテグレーション

資本金 : 4億2325万円  
従業員数 : 170人(派遣社員等も含む)  
床面積 : 1,089 m<sup>2</sup>  
売上高

	2004年度	2005年度	2006年度
売上高(百万円)	658	1,055	1,607

## 2. 環境方針

### - ネットイヤーグループ(株) 環境方針 -

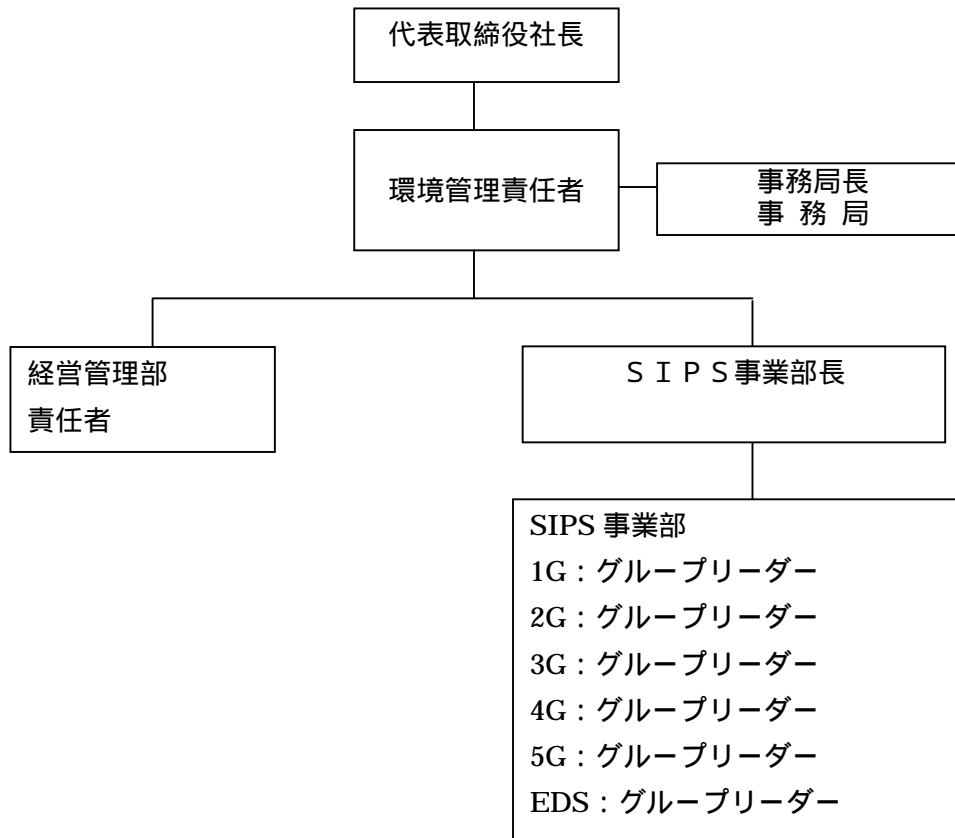
当社は、インターネット技術を活用した戦略的マーケティング支援及び新規事業開発支援を行う企業として、地球環境・地域環境に配慮し、環境保全活動を推進し、次に示す環境方針を定める。

1. 環境目標を設定し、主に以下の項目を取組むことによって、環境負荷を改善する。
  - (1) 電力使用量の削減
  - (2) 廃棄物の削減(紙廃棄物)
  - (3) 紙及びトナーの使用量削減
  - (4) 顧客の企業サイト構築に際し、環境配慮の姿勢がよりユーザーに伝わりやすくなるよう工夫を施す。
2. このために、社内の体制・手続きなどを整備した環境経営システム(EMS)を確立し、継続的に見直すことによって、その環境負荷の軽減・改善及び汚染の予防を行い、維持する。
3. 関連する環境関連の法規制、条例及びその他の要求事項を順守する。
4. 社員全員参加による環境保全活動を実行する。
5. 環境方針を含めて記述した環境活動レポートを作成し、地域や利害関係者からの要求に応じて配布・公表し、社内外への情報提供を行うことによって、積極的な環境コミュニケーションに取り組む。

2006年9月1日  
ネットイヤーグループ株式会社  
代表取締役社長  
石黒 不二代

### 3. 環境経営システム組織体制

ネットイヤーグループ(株) 環境管理組織図  
(2007年2月1日現在)



### 4. 環境負荷実績

項目	2005年度	2006年度
CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	60,568	80,041
水使用量 (m <sup>3</sup> )	8	9
廃棄物等排出量 (t)	5	5
総物質投入量 (t)	4	4

## 5. 環境目標

## ネットイヤーグループ(株) 2006 年度～2008 年度 環境目標

大項目	項目名	2006 年度(下期)	2007 年度	2008 年度
CO2 削減	電力使用量の削減	従業員数当り 2005 年度実績に対し、1%削減	従業員数当り 2005 年度実績に対し、2%削減	従業員数当り 2005 年度実績に対し、3%削減
廃棄物削減	紙の廃棄物の削減	2005 年排出実績に対し、に従業員数当り 2%削減	2005 年排出実績に対し、に従業員数当り 4%削減	2005 年排出実績に対し、に従業員数当り 6%削減
資源枯渇	紙の使用量削減	従業員数当り 2005 年度実績に対し、2%削減	従業員数当り 2005 年度実績に対し、4%削減	従業員数当り 2005 年度実績に対し、6%削減
"	トナーの使用量削減	従業員数当り 2005 年度実績に対し、2%削減	従業員数当り 2005 年度実績に対し、4%削減	従業員数当り 2005 年度実績に対し、6%削減
顧客への提案	ウェブサイト構築業務を通じて、クライアントの環境保全に関する姿勢をより分かりやすく提示するサポートを行う	2006 年下期で 3 件	年間 6 件	年間 10 件

水使用量については把握不可能なこと及び使用量が少ないことから、環境目標として取り上げない。  
紙以外の一般廃棄物は数量把握ができないので、数値目標は設定しない。ただし、分別に努める。  
環境目標としてあげないが、グリーン購入に努める。

「電力使用量の削減」「紙の使用量削減」「トナーの使用量削減」「ウェブサイト構築業務を通じて、クライアントの環境保全に関する姿勢をより分かりやすく提示するサポートを行う」については、目標を大きく上回って達成できたので、2007 年度以降の目標値を上方修正する予定である。

「紙の廃棄物の削減」については、目標を大幅に下回る結果となっており、原因が明確になっているために、2007 年度以降の目標値を下方修正するつもりである。

## 6. 主要な環境活動計画の内容

## ネットイヤーグループ(株) 2006 年度 環境活動計画の主な実施項目

項目名	主な施策
電力使用量の削減	空調温度遵守の徹底(夏 26 、冬 24 ) 分割消灯の実施 不要電力の消灯(モニター、コンピュータ等) 省電力蛍光管への切替 OA 機器の省エネ運用(コピー、プリンタなどの省エネモードへの切り替え等)
紙の廃棄物の削減	裏紙利用の推進 不要なハードコピーのプリントアウト抑制 可能な場合、両面印刷・コピーの徹底 廃棄物分別の徹底
紙の使用量削減	裏紙利用の推進 不要なハードコピーのプリントアウト抑制 可能な場合、両面印刷・コピーの徹底 廃棄物分別の徹底
トナーの使用量削減	不要なハードコピーのプリントアウト抑制 不要なコピーの抑制(配布資料の見直し等) 電子媒体の利用(Eメール利用、イントラネット利用促進等) 不要なカラー印刷・コピーを避け、白黒印刷・コピーにする
ウェブサイト構築業務を通じて、クライアントの環境保全に関する姿勢をより分かりやすく提示するサポートを行う	環境配慮の提案 (ウェブサイト構築業務を通じて、クライアントの環境保全に関する姿勢をより分かりやすく提示するサポートを行う)

**7. 環境活動の取組結果の実績と評価**

ネットイヤーグループ(株) 06年10～07年3月期の取組結果と評価(05年10～06年3月との比較)

No.	実施項目	評価	目標達成度	実施内容と分析、是正・予防処置
1	電力使用量の削減		4%削減 2005:5617.317 MJ/人、 2006:5376.843 MJ/人 (目標:従業員数当り2005年度実績に対し、1%削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで電力使用に対して関心が薄かったが、EA21の取組み開始によって、従業員の意識が高まった。夜間の空調を止めたことによる効果も大きかった。</li> <li>これまで基本的な取組すら行っていなかったため、思ったより効果をあげた。</li> <li>従業員数の増加による効率アップも改善の一因。</li> <li>昼間の電力使用量が正確に把握できない課題もある。</li> </ul>
2	紙廃棄物の削減	×	68%増加 2005:7.131 kg/人 2006:11.920 kg/人 (目標:2005年排出実績に対し、に従業員数当り2%削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月のレイアウト変更や一部の部門が渋谷野村ビルに移転するため、身の回りの資料を整理し、廃棄物が多く出たのが、目標未達の主な要因と思われる。</li> <li>従業員の意識は徐々に向上している。</li> <li>今後も引越等により紙廃棄物増加傾向が続く見込みなので、施策を継続実施して増加を抑えたい。</li> </ul>
3	紙の使用量の削減		17.89%削減 2005:15.3681 kg/人 2006:12.618 kg/人 (目標:従業員数当り2005年度実績に対し、2%削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員の意識の高揚による大幅な削減が達成できた。</li> <li>従業員数の増加による効率アップも改善の一因。</li> </ul>
4	トナーの削減		38%削減 2005:1.266 kg/人 2006:0.780 kg/人 (目標:従業員数当り2005年度実績に対し、2%削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員の意識の高揚による大幅な削減が達成できた。</li> <li>従業員数の増加による効率アップも改善の一因。</li> </ul>
5	ウェブサイト構築業務を通じて、クライアントの環境保全に関する姿勢をより分かりやすく提示するサポートを行う		提案実績:11件 (目標:2006年下期で3件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般企業の環境への取り組みが活性化すると共に、弊社が手掛けるサイトでも関係コンテンツが増加した。</li> <li>環境問題やCSRに関する課題について提案する機会が増加した。</li> </ul>

## 8. 環境改善への取組活動の例

社内の告知・意識改善のため、以下のような対策を実施した。

### ■ 空調操作部分への表示



ごみ箱を種類に配置



温度計の設置



## 9. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

### (1) 該当環境関連法規と違反状況

当社は下記法規制等が該当するが、いずれも違反はしていない。

下水道法

廃棄物処理法

セルリアンタワービル、及び渋谷野村ビルの規則

家電リサイクル法

消防法

### (2) 訴訟等の有無

創業以来、現在まで、訴訟や近隣からの苦情は一度もない。

以上